



みなと荘新聞

平成31年2月 第95号

今月の予定

《 2月16日 ~ 3月15日まで 》

| 2月 | 3月 |
|-------------|--------------|
| 20日..みなとランチ | 3日.. 雑祭り |
| | 7日.. 総合避難訓練 |
| | 14日.. ホワイトデー |

行事の様子

1月17日 鍋パーティー(おでん)

モクモクと湯気の立つ鍋の中には、ハンペンや昆布、大根、玉子など冬の風物詩おでんが煮えています。味が染みた大根が人気。職員が取りそろえたおでん種を次から次へと美味しく丁寧に平らげ、御利用者はおかわりの連続でした。

満足そうな笑い声と楽しい会話がA館・B館の両ホールに響き、とても幸せな一時でした。



デイケア

『通所リハビリテーション』



立春も過ぎ少しづつ春が近づいています。春ってなんだか気持ちがウキウキしませんか？ウキウキと言えば、デイケアでは食後の麻雀を楽しむ光景が見受けられる様になっています。作業療法の田村先生が麻雀台を持って来て下さり本格的にできるんです。麻雀はゲームなのですが、皆さん「頭の体操になる」や「老化防止になる」などと楽しそうです。麻雀牌も小さいので指先も使います。麻雀は男の人がやると思われますが、女性利用者さんも興味を待ち、教えてもらっている今日この頃です。麻雀を通して会話の輪も広がっているデイケアです。

2月3日 節分・豆まき

「福は内、鬼は外」——。

職員が扮した赤鬼・青鬼に御利用者は大声で叫び、豆をまいて節分を楽しみました。福の神の登場には、全員が拍手で出迎え、春の訪れに感謝。

インフルエンザ感染防止のため御利用者や友人との面会が禁止になり、曇りがちだった御利用者の表情にも満面の笑みがこぼれました。



編集後記

今年もはや2ヶ月が過ぎました。寒さもやや峠をこえ、春の気配もチラホラ。東京の湯島天神の梅は散り始めたそうです。今年度のみなと新聞も残り一回の発行を残すのみ。あっという間の1年でした。激動の平成の世も終わりを告げ、5月は新元号となります。みなさんお体を大切にし、新年度の春、そして新時代を迎えましょう。